

授業科目	*看護キャリア形成論				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	NU21401J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1			
担当教員	金山 正子、長崎 恵美子							
授業概要	<p>1. キャリア教育の目的は、学生個々が自分の将来をデザインする能力、情報を収集する能力、意思決定を行う能力、人間関係を構築する能力という「生きる力」を身につけることにあります。</p> <p>2. この授業では、看護学生として2年目を迎えた皆さんに、大学時代や大学を卒業してからの自らの人生と看護職としてのキャリアに関して、今後の進路を自らどう選択していくか、自身の看護キャリアをどうデザインするかについての考えを深めながら、それぞれの看護職としてのキャリア形成に繋げることを目的としています。</p> <p>そのために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職業としての「看護」への理解(職業理解)を深める 2) 看護を目指す自分自身への理解(自己理解)を深める 3) 仕事に対する考え方や希望(キャリア指向性)を明らかにし、看護を目指す自らの将来について考える 4) 看護専門職としての自身の将来像を具体的にイメージする 5) 目標達成に向けた自らの課題を明確にしたうえで、ライフプラン、キャリアプランを作成する <p>3. 前期全8回の授業を通して、上記1)~5)のねらいが達成できるように、看護の様々な場で活躍中の看護職の方を外部講師として招き、どのようにキャリア形成してきたか、現在の活動の場や活動の実際、将来の夢や課題について語っていただく機会を通して、受講生1人ひとりが自らの看護職としての未来、キャリア形成について考えるきっかけになれば...と考えています。</p> <p>実務家教員として、講義だけでなく、グループディスカッションやパネルディスカッションなど、アクティブ・ラーニングの手法を積極的に取り入れ、受講生が興味をもって参加できる授業にしたいと思います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会で活躍する看護の先輩方の物事の見方・考え方に触れ、「看護」という職業についての知識を増やすことができる。 2. 看護を目指す者としての自身の強みと課題を明らかにし、述べることができる。 3. 自身の強みを活かしつつ、課題解決に向けた方策を考え、意見を述べるができる。 4. 課題解決に継続して取り組む姿勢、課題解決策を実行しようとする行動力を備えることができる。 5. 看護専門職としての自らの将来像をイメージし、具体的に述べるができる。 6. 看護職者として、生涯を通じて社会貢献しようとする意欲と態度を表明することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	70	10	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20	10	10		40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20		10		30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)			10				10	
態度(DP4-1)			10				10	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								

具体的な達成の目安				
理想的レベル		標準的なレベル		
1. キャリア形成の基本となる「考え方」を自分の言葉で述べる ことができる。 2. 「看護」という仕事、「看護職」としての自分をイメージした うえで、仕事に関する考え方、社会や物事の見方・考え方、考 え続ける力・習慣を身につけている。 3. 社会の中で様々なかたちで活躍している先輩達の講話を聴 くことで、将来「やってみたい仕事」や「なりたい自分」につ いて、自身の考えを明確に述べる ことができる。 4. 自身の強みを活かし、自らの課題解決に向けた行動を継続 して行なうことができる。 5. 看護職としての自分の将来について、「なりたい自分像」を 明確にもち、自分の言葉で語る ことができる。 6. 自らの看護キャリアプランを構築 することができる。 7. 看護職として、生涯を通じて社会 貢献しようとする意欲と態度を 表明することができる。		1. キャリア形成の基本となる「考え方」がわかる。 2. 「看護」という仕事、「看護職」としての自分の姿をより明 確にイメージすることができる。 3. 社会の中で様々なかたちで活躍している先輩達の話 を聞き、将来「やってみたい仕事」や「なりたい自分」につ いて考えるきっかけにできる。 4. 自らの強みと課題に気づき、自分の言葉で述べる ことができる。 5. 自身の強みを活かすこと、自らの課題解決に向けて、 学生時代にやっておくべきことは何か が「わかった」と言える。 6. 「看護」という仕事、「看護職」としての将来の 自分をイメージしたうえで、 キャリア形成にむけた自身の考えを キャリアプランシートに記載する ことができる。 7. 看護職としての自分の将来につ いて、いくつかの方向性を示し、 それぞれについて、自身の考えを 述べる ことができる。 8. 看護職として、生涯を通じて 社会貢献する事の必要性に気づ くことができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 授業ガイダンス(金山正子、長崎恵美子) ・授業概要の説明 ・キャリア形成の必要性について ・職業としての「看護」<職業理解>	■全体講義	【復習】 学びを蓄積するための「学修ポ ートフォリオ」を作成する。	【復習】 60分
2	テーマ: 何のためにここ(大学)で学 ぶのだろう。(金山正子)	■全体講義 ■5~6名の小グループに分か れてGD(グループディスカ ション)	【復習】 課題レポートに取り組む。	【復習】 90分
3	テーマ: 今、あらためて「自分」 について考えてみよう<自己理 解>。(金山正子、長崎恵美子)	■全体講義 ■5~6名の小グループに分か れてGD(グループディスカ ション)	【予習】 1) 就職課が実施する「性格 検査;MSR」の判定結果を基 に、客観的に自分自身を振り 返る機会とする。「MSR」の 判定結果から見える自分自身 の特徴や傾向、強みや興味の 方向性を確認・整理する。 2) 他者理解の前提となる自 己理解(自分を知る)を深め、 自身の課題や改善点を明らか にする。 上記1)、2)を実行するた めの必要な準備を整える。 【復習】 課題レポートに取り組む。	【予習】 60分 【復習】 90分
4	テーマ: 先輩に学ぶ~私のキャ リアプラン~(仮)(金山正子、 長崎恵美子) ゲストスピーカー3~4名の講 話を聴講しながら、 1) 自分はいったい何者で 2) どこへ向かおうとしてい るのか/どうしたいと思 っているのか	■ゲストスピーカー 3~4名によるパ ネルディスカ ション ■5~6名の小 グループに分 かれて	【予習】 事前配布資料をもとに、 ゲスト講師それぞれの プロフィールを読み込み、 自分が知りたいと思 うこと、聞いてみたい こと、興味を持った こと、ぜひ質問し	【予習】 60分 【復習】 90分

	<p>3) 将来どんな自分になりたいのか</p> <p>4) なりたい自分になるために、今すべきことは何か</p> <p>上記 1)~4)を自分自身に問いかけながら、看護職としての自らのキャリアデザインを考える「きっかけづくり」の場とする。</p>	<p>の GW(グループワーク)</p>	<p>たいことなど、主体的にワークショップに参加できる準備を整える。</p> <p>【復習】 振り返りのための課題に取り組む。</p>	
5	<p>テーマ:看護職としての自分の未来を描こう</p> <p>～ キャリアプランを作成する (1)～</p> <p>(金山正子)</p>	<p>■全体講義</p> <p>■5～6 名の小グループに分かれて GD(グループディスカッション)</p> <p>■課題学習(看護キャリアプランシートを作成)</p>	<p>【課題学習】</p> <p>1) 看護職としての自分の将来の夢を明確にする。</p> <p>2) 自分の強みと課題を再確認し、将来の仕事にどう活かせばよいか、活かせるかを考える。</p> <p>3) 自分が「なりたい」と思う自分はどんな自分か、自分の言葉で表現する。</p> <p>4) 自身の「看護キャリアプランシート」の作成にとりかかる。</p>	<p>【予習】 時間フリー</p> <p>【復習】 90 分</p>
6	<p>テーマ:看護職としての自分の未来を描こう</p> <p>～ キャリアプランを作成する(2)～</p> <p>(金山正子)</p>	<p>■5～6 名の小グループに分かれて GD(グループディスカッション)</p> <p>■課題学習(看護キャリアプランシートを作成)</p>	<p>【課題学習】</p> <p>1) 看護職としての自分の将来の夢を明確にする。</p> <p>2) 自分の強みと課題を再確認し、将来の仕事にどう活かせばよいか、活かせるかを考える。</p> <p>3) 自分が「なりたい」と思う自分はどんな自分か、自分の言葉で表現する。</p> <p>4) 自身の「看護キャリアプランシート」を完成させる。</p>	<p>【予習】 時間フリー</p> <p>【復習】 時間フリー</p>
7	<p>テーマ:課題レポートに取り組む。</p> <p>課題:「看護職としての私の未来を語る」</p> <p>(金山正子)</p>	<p>■全体講義</p> <p>■5～6 名の小グループに分かれて GD(グループディスカッション:次回プレゼンテーションに向けてのキャリアプランの発表準備・グループ代表者の決定)</p> <p>■課題学習(課題レポートの作成)</p>	<p>【予習】</p> <p>1) 看護職としての自身の将来の夢を明確にする。</p> <p>2) 自分の強みと課題を再確認し、将来の仕事にどう活かせばよいか、活かせるかを考える。</p> <p>3) 自分が「なりたい」と思う自分はどんな自分か、自分の言葉で表現する。</p> <p>4) 自身の「看護キャリアプランシート」の作成にとりかかる。</p> <p>5) 自身の「看護キャリアプラン」を発表することを想定して「プランニングシート」の内容を充実させる。</p> <p>【復習】 次回、看護キャリアプランの発表者として、グループ代表に選抜されてもいように、</p> <p>1) 所定の時間(3 分)内で自身の「看護キャリアプラン」が発表できる。</p>	<p>【予習】 90 分</p> <p>【復習】 90 分</p>

			2)発表者は、聞き手に自身の思いが十分伝わるように、わかりやすく筋道立てて話をする ...を目指して、必要な準備を整える。	
8	<p>テーマ:全体総括</p> <p>・聞いて!! 私の看護キャリアプラン</p> <p>・本授業のまとめ</p> <p>(金山正子、長崎恵美子)</p>	<p>■学生によるプレゼンテーション:各グループの代表者による「看護キャリアプラン」の発表(発表後のGD(グループディスカッション)を含む)</p> <p>■小講義(全体のまとめ)</p>	<p>【予習】</p> <p>1)グループを代表して「看護キャリアプラン」を発表するプレゼンターに選抜・抜擢されてもいように、</p> <p>2) 所定の時間(3分)以内で、自身の「看護キャリアプラン」を発表できるように、</p> <p>3) 聴衆に自身の思いがよく伝わるような、わかりやすく筋道立てた話の流れをつくるなど、</p> <p>本日のプレゼンテーションにむけた準備(発表原稿の作成など)を整えておく。</p> <p>【復習】</p> <p>1) 振り返りのための課題に取り組む。</p> <p>2) 指定された期日に提出できるように、自身の「学修ポートフォリオ」の内容を過不足なく整理する。</p>	<p>【予習】</p> <p>120分</p> <p>【復習】</p> <p>60分</p>
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>総合人間科学(学部共通科目群):キャリア形成支援「キャリア開発」での学びを基盤として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分の人生の目標は何か、自分の人生にとって大事なものは何か、この大学にきた目的は何か ● 人間らしく働くということ ~ 女性の働き方とワーク ライフ バランス ~ ● キャリアを考える ~ キャリアは仕事の腕を磨くこと ~ ● 女性のキャリア開発 ● 自分らしい未来のために ~ 大学生活をどうマネジメントし、自らをどう育てるか ~ <p>上記5つの観点から、看護学科2年次を迎えた1人ひとりの学生が、「看護」という仕事や「キャリアを構築する」ことへの理解と考えを深め、それぞれが目指す「看護キャリア」の形成に繋げることができるように、既習の知識を活用する。</p>			
テキスト	適宜、プリントを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で、適宜、紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>■「看護キャリア形成論」は、大学を出て、社会の中で「看護職」として生きていく自分を考えるための授業です。まずは、社会では「できて当たり前」のルールとマナーを身につけ、「大人＝社会人」としての礼節を守りながら、主体的・積極的に授業に参加してください。</p> <p>■大人＝社会人としてのマナー(授業に臨む姿勢・態度として「5分前精神」で行動する、時間・約束を守る、授業中の飲食禁止、授業中の不用意な入退出、電話・メールのやりとりは慎む、スクリーンショットなどの写真撮影禁止など、マナーやルールを守ってください。こうしたマナーやルールが守れない場合は、途中で“退出”をお願いすることがあります。</p> <p>■クラス全体が気持ちよく・楽しく学び合える環境・雰囲気となるように、2年生の皆さんのご理解とご協力をお願いします。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>課題達成度は、課題レポート(70%)、発表(口頭、プレゼンテーション:10%)、レポート外の提出物(20%)により総合的に評価する。</p> <p>課題レポート、発表、レポート外の提出物については、DP1-2)【知識・理解】、DP2-1)【思考・判断】、DP3-1)、DP3-2)の【意欲・関心】、DP4-1)の【態度】について評価する。</p> <p>課題に対するフィードバックの方法は、講義中にコメントや質問に対する回答を行い、提出物の返却やclassroomへの掲示を行うなどして、受講者にフィードバックをする。</p>			

